

令和5年3月7日	
資料提供	
担当課	経営支援課
担当者	奥野、新田
電話	073-441-2931

「令和4年度むらとくらしを考える会議」の開催

農業・農村で活動している県内の生活研究グループ員が一堂に会し、「食と農で地域を元気に～コロナ禍に負けない交流活動～」をテーマに活動事例発表や講演会を開催します。

なお、会議の冒頭、農山漁村においてグループ活動を通じて地域活性化に貢献された女性及び高齢者グループの表彰式を行います。

1. 主催：和歌山県生活研究グループ連絡協議会、和歌山県
2. 日時：令和5年3月14日(火) 13時30分から
3. 場所：和歌山城ホール 小ホール
(和歌山市七番丁25番地の1 TEL:073-432-1212)
4. 参加者：生活研究グループ会員、関係者 約80名
5. 内容：
 - ・女性、高齢者グループの生活・生産に関する表彰式【13:30～14:10】
(詳細は裏面のとおり)
知事表彰(1グループ)
日高川町生活研究グループ美山支部 イタドリ部会(日高川町)

農林水産部長表彰(2グループ)
JAありだ女性会(有田川町)
新庄漁業協同組合女性部(田辺市)
 - ・活動事例発表【14:15～14:30】
「地域に根付いた地産地消の取組」
岩出市生活研究グループ協議会 会長 田中 典子 氏
 - ・講演【14:30～15:30】
「食文化面からの食育と和歌山の地域食材について」
公益社団法人 和歌山県栄養士会 参与 藤澤 祥子 氏

※開会前に、生活研究グループによる手作り加工品や農産物等の展示販売を行います。【12:30～13:25】

女性、高齢者グループの生活・生産に関する表彰 受賞グループの概要

【和歌山県知事表彰】

・日高川町生活研究グループ美山支部 イタドリ部会（日高川町）

代表者：竿本 みき代（さおもと みきよ）

活動開始年：平成 25 年 構成員数：22 名（女性 22 名）

- 功績内容：
- ・県林業試験場と協力し、良質な苗作りとマルチ敷設による安定栽培技術を実践。
 - ・耕作放棄地の有効活用による、加工用原材料の確保。
 - ・イタドリの機能性成分（ポリフェノール）が多く、本来廃棄される部分を活用した新しい加工品「美山の贅」シリーズ（ドレッシング、ジャムペースト、健康茶）を開発。
 - ・イベントやSNSを活用したイタドリのPR活動に加え、販路拡大に精力的に取り組む。

【和歌山県農林水産部長表彰】

・JAありだ女性会（有田川町）

代表者：田中 清美（たなか きよみ）

活動開始年：平成 11 年 構成員数：1,229 名（女性 1,229 名）

- 功績内容：
- ・各支部の地元小学校通学路で、挨拶運動を実施している。
 - ・「クリーンウォーク」と題し、地域の一斉美化活動を平成 23 年以降毎年実施。
 - ・JAありだと連携し、小学校への出前授業に講師として参加し食農教育に貢献。（R4 実績：延べ 52 回、832 名）
 - ・女性会員向け防災講演会「女性の視点から防災・減災を考える 2019～被災地から学ぶ～」をきっかけとして、簡易トイレの作り方や防災に向けた講習、啓発活動を地域で実施。

・新庄漁業協同組合女性部（田辺市）

代表者：谷口 正子（たにぐち まさこ）

活動開始年：昭和 31 年 構成員数：22 名（女性 22 名）

- 功績内容：
- ・地域の磯で見られなくなったヒジキの繁殖・保護のため、磯磨き等の活動を実施。現在、年間 500 kg 程度収穫できるまで回復。
 - ・地元中学校に、災害時炊き出し訓練の指導を平成 21 年から毎年実施。
 - ・地元産ヒジキ料理メニューの研究や試作を行い、講習会等を通じて調理法の普及や継承に取り組む。
 - ・ライフジャケット着用推進活動や清掃活動などの地域活動へも積極的に参加。